

第2回北塩原村こども・子育て会議（令和6年12月24日開催）意見・提案

(注)意見・質問は要約したもの。回答については、会議での発言に加え、その後、事務局において対応を協議したもの（会議席上での発言内容に追加した箇所あり）。

No	箇所	区分	対応	意見・質問・提案等	回答
1	第1章 計画策定の趣旨等	質問	—	<p>【アンケート調査の対象者（外国人）について】</p> <p>○18歳から39歳の若年層（ホテル従業員）のアンケート回収率が9.5%であるが、対象者に外国人は含まれているのか。</p>	<p>【実施状況を回答】</p> <p>○若年層の調査は日本人のみ。</p> <p>○子育て世帯については、外国人を含めている。</p>
2	第2章 こども・若者、子育てを取り巻く現状	意見	反映	<p>【村民の幸福度について】</p> <p>○「10年後（中学生は20年後）どのようになっていると思うか」の質問に対し、中学生及び高校生の多くが「幸せになっている」と回答しており、非常に素晴らしい村だと考える。</p> <p>○一方、20代・30代では、「幸せになっている」と回答したのは半数程度である。</p> <p>○大人は、課題や問題が山積している状態で計画等を進めざるを得ず、足りないものや弱いところに危機感を語られる事が多い。</p> <p>○住民の方は村の良さや強みについてどう感じて生活しているか気になる部分である。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○若い世代の抱く思いが深まり、次のライフステージにおいても幸福度が持続するように施策を展開する。</p>

No	箇所	区分	対応	意見・質問・提案等	回答
3	第2章 こども・若者、子育てを 取り巻く現状	意見	反映	<p>【村民の幸福度について(No.2を受けて)】</p> <p>○30年前に移住し、宿泊業を営んでいる。</p> <p>○コロナ禍において、観光客の減少により、苦しい状況にあったが、朝、鳥の声で目覚めるなどの幸せを感じる事ができた。</p> <p>○これまでは季節を感じる余裕が無かったが、新緑を眺めることで、改めて自然が美しいと感じることができ、村外で暮らす息子も自然に触れたいと感じているのか、何度も帰省している。</p> <p>○都会に出ていった人が村の綺麗な空気を吸って自然の美しさを感じ、頑張ろうと思えることは大事なことである。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○本村の強みである豊かな資源を生かした施策を展開する。</p>
4	第2章 こども・若者、子育てを 取り巻く現状	意見	反映	<p>【若者が帰ることの環境づくり・希望を持つこと の環境づくり(No.3を受けてのコメント)】</p> <p>○学生は、進学や就職などで都会に行くケースが多いが、ある程度の期間が経過すると実家に帰ってくることもある。</p> <p>○帰って来れる場所を用意していれば、将来、村のこどもたちもまた帰ってくるのではないか。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○こども・若者を対象とする取組みやライフイベント、さらには、村の情報発信等において、本村や村民とのつながりを創出していく。</p>
5	第2章 こども・若者、子育てを 取り巻く現状	意見	反映	<p>【若者が帰ることの環境づくり・希望を持つこと の環境づくり(No.4を受けてのコメント)】】</p> <p>○息子が「村民の方は生活するための収入をどのようにして得ているのか」と話していた。</p> <p>○仕事のイメージを持つことができない若者が多いのではないか。</p> <p>○「この村で生活していける」ということを大人がこども達にしっかりと伝えて浸透させていかなければならない。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○こども・若者が将来の姿を抱くことができる取組みを進める。</p>

No	箇所	区分	対応	意見・質問・提案等	回答
6	第4章 施策の展開	意見	反映	<p>【学校の役割・村における教育の現状について】</p> <p>○学校の役割は、目の前の子ども達へ必要な資質や能力を育むこと。</p> <p>○村の強みは、少人数であることで一人ひとりの実態に応じた指導の実践や各学区で幼少中の連携を生かした教育活動を地域の方とともに実践していること。</p> <p>○一方で多様な考え方に触れる機会が少ないなどのデメリットもある。</p> <p>○現状の強みを生かすことでデメリットを少しでも低減することにつながるのではないかと考えている。</p> <p>○村には、支援員や講師の充実、小学生対象の職場見学等の機会の継続を引き続き検討してほしい。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○小規模だからこそできる教育活動、少人数ならではのきめ細かな教育活動を推進する。</p>
7	第4章 施策の展開	意見	反映	<p>【少人数教育のメリットについて(No. 4のコメントを受けて)】</p> <p>○少人数教育は、多様な意見の中で育つ教育とはまた違う経験を得ることになるのではないか。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○小規模だからこそできる教育活動、少人数ならではのきめ細かな教育活動を推進する。</p>
8	第4章 施策の展開	意見	反映	<p>【利用しやすいこどもの遊び場づくりについて】</p> <p>○村内の幼稚園や小学校に設置されている遊具の利用においては、幼稚園や学校の活動時間等を考慮すると利用しづらい。</p> <p>○情報の提供を含めて利用しやすい環境にしてほしい。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○利用しやすい情報提供に努める。 →基本的に幼稚園・学校の休業日に開放</p>

No	箇所	区分	対応	意見・質問・提案等	回答
9	第4章 施策の展開	質問	-	<p>【指標の考え方について】</p> <p>○「漢字検定受検者数の割合の考え方」で、令和6年度の現状値が100%とあるが、小学生であれば1人の児童が6年間全て受けたことを示すのか。それとも各学年ごとの受検の状況を示すのか。</p>	<p>【状況を回答】</p> <p>○小学生であれば4・5・6年生の漢字検定、中学生は1・2・3年生までの漢字検定と英語検定の検定料を1人、1年度につき1回助成している。</p> <p>○小学生、中学生とも毎年必ず1回受検することとしている。</p> <p>○よって、1人の児童のが1年間における受検状況を示している。</p>
10	第4章 施策の展開	意見	反映	<p>【少人数教育による影響、必要な対応について】</p> <p>○少人数教育のこども達が大人になった時にどうなるか、という懸念を持っている保護者の方もいるが、一例として、短大の学生にも少人数教育を経験した子がいる。</p> <p>○私見ではあるが、市街地出身の学生に比べて弱い・強いを感じることはない。むしろ仲間思いの優しい子が多い印象がある。</p> <p>○こどもが少ない地域でも、必要なスキルを身に付けて育っていくものである。地域にある良さを生かし、その環境の中でできるだけ良い学びが得られ、こどもたちの能力が発揮できるように周囲の大人達が協力していけることが村の良さではないかと考える。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○本村の強みである豊かな資源、人とのつながりを生かした施策を展開する。</p>
11	第4章 施策の展開	質問	-	<p>【ひとり親世帯数の状況について】</p> <p>○村のひとり親世帯の数が多い傾向にあると考える理由を教えてください。</p>	<p>【現状等を回答】</p> <p>○その理由は不明だが、村営住宅に入居されている方が多いことから、家賃等経済面のほか、村の様々な支援事業等も選ばれる理由の一つではないかと思われる。</p>

No	箇所	区分	対応	意見・質問・提案等	回答
12	第4章 施策の展開	意見	反映	<p>【施策の実現について】</p> <p>○指標の中で「未実施」の事業がいくつか出てくる。村民等に理解が及んでいないのか、情報が伝わっていないのかはわからないが、未実施事業の減少を実現していただきたい。</p> <p>○高齢者の地域サロン等、場所がないから集まれないという話を聞くが、他自治体では学校側との理解醸成に努め、空き教室を利用したサロンが行われている。</p> <p>○ゼロから何かを生み出すことも必要だが資源に限りはある。</p> <p>○既にあるものをどう活用するか、今いる人が有益になるにはどうしたらよいかを考えるのも必要ではないか。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○施策検討の際は、村民や関係機関との合意形成を図るとともに、持続可能な村づくりのため、既存の資源（ヒト・モノ・コト）活用についても念頭に検討する。</p>
13	第4章 施策の展開	意見	反映	<p>【地域コミュニティの強化について】</p> <p>○地域が小さいからこそ、このようなワークショップが重要だと思われる。</p> <p>○施策を考える上で、子ども自身の意見を聞く場としても取り組んでいただきたいが地域間の距離がある。</p> <p>○離れた地域とは、オンラインでつなぐことができれば参加しやすいのではないか。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○参加しやすい環境づくりについて、検討する。</p>

No	箇所	区分	対応	意見・質問・提案等	回答
14	第5章 教育・保育事業及び 子ども・子育て支援事 業	意見	反映	<p>【ファミリー・サポート・センター事業について】</p> <p>○ファミリーサポートについては、利用を心待ちにしている方もいると思われるため、ぜひ、実現していただきたい。</p> <p>○会津管内の自治体でも利用が伸びており、子どもを育てるといのは家庭の中だけではなく、開かれた地域の中の営みである。</p> <p>○社会資源を活用して子育てしやすい村・住みよい村になってほしいと考える。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○こども・若者、子育て当事者が、将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる社会の実現に向けて施策を進める。</p>
15	第4章 施策の展開	意見	-	<p>【多様な遊びや体験活動の推進について】</p> <p>○子ども体験活動事業・環境学習・自然体験等の推進について、それぞれの事業を合わせて(または共有、共同で行い)自然環境科のような教科名で学校教育の中に組み込み、村独自の教育として教科化することはできないか。</p> <p>○「総合学習」等の枠で単発的なイベントのようなものではなく一貫したプログラムとして考えるようなことはできないでしょうか。</p>	<p>【状況について回答】</p> <p>○地域の特性を生かした教育は重要と考えている。しかし、裏磐梯小学校で独自に新教科を創設することは県教委並びに文科省の研究指定を受けなければ実施することができない。</p> <p>○現在、裏磐梯小学校では裏磐梯地区の特性を生かした教育課程を編成し、目指すこどもの姿を具現すべく教育活動を行っている。それゆえ、このような学習を充実させていくことが一貫性のあるカリキュラムに基づくその地域ならではの教育活動であると考えている。</p>

No	箇所	区分	対応	意見・質問・提案等	回答
16	第4章 施策の展開	意見	反映	<p>【利用しやすい施設の整備について】</p> <p>○現在、高齢者や障がい者、子ども連れの家族などすべての人にとって利用しやすい具体的な施設はあるのかそれとも計画等はこれからなのか。</p> <p>○現状、村の施設利用にあたっては管理課等が異なり、利用方法等が複雑であるため、窓口を一本化することや村民が積極的に利用できるように検討し直すことが必要ではないか。</p> <p>○他市町村のサービス利用にあたっては、村の地理的なことも踏まえ、喜多方市の他、猪苗代町等との連携も検討いただきたい。</p>	<p>【計画策定に反映する】</p> <p>○既存施設の有効活用を含め、利用しやすい施設環境の整備、自由に集い、交流できる空間の創出に努める。</p> <p>○公共施設の一部については、WEBでの予約対応を令和6年11月から開始した。</p> <p>○近隣市町村に立地する公共施設の利用に関する情報をとりまとめ、村民の利便性向上に努める。</p> <p>※ I (3)「利用しやすい施設環境の整備」に文言追記</p>
17	第4章 施策の展開	意見	反映	<p>【体育施設の維持管理について(利用しやすい施設の整備に関連して)】</p> <p>○利用する村民として村が想定しているのは団体だと思うが、実際は団体を作るほどこどもの数も多くない現状であり、個人で利用することも考えた利用制度も必要だと考える。</p> <p>○誰でも思いついたときに村の施設を気軽に利用できることができれば(定期的な無料開放日など)いいのでは。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○既存施設の有効活用を含め、利用しやすい施設環境の整備に努める。</p> <p>○公共施設の利用に関する情報をとりまとめ、村民の利便性向上に努める。</p> <p>○定期的な無料開放などについては、上記の取組みを進めるなかで、検討する。</p>
18	第4章 施策の展開	意見	反映	<p>【体育施設の維持管理について(利用しやすい施設の整備に関連して)】</p> <p>○利用する村民として村が想定しているのは団体だと思うが、実際は団体を作るほどこどもの数も多くない現状であり、個人で利用することも考えた利用制度も必要だと考える。</p> <p>○誰でも思いついたときに村の施設を気軽に利用できることができれば(定期的な無料開放日など)いいのでは。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○既存施設の有効活用を含め、利用しやすい施設環境の整備に努める。</p> <p>○公共施設の利用に関する情報をとりまとめ、村民の利便性向上に努める。</p> <p>○定期的な無料開放などについては、上記の取組みを進めるなかで、検討する。</p>

No	箇所	区分	対応	意見・質問・提案等	回答
19	第4章 施策の展開	意見	検討	<p>【小児医療体制の整備について】</p> <p>○裏磐梯より喜多方方面へ向かう際、気象状況の影響による倒木等により、一時的に国道が閉鎖されるケースも発生することから、休日当番医等に関しては喜多方市方面のみならず猪苗代町方面の医療機関についても情報の提供が必要だと感じる。</p>	<p>【情報提供の実施に向けて検討する】</p> <p>○生活圏域に視野を広げた中での安全・安心の確保、さらには満足度を向上を図るため、ご意見を踏まえた医療機関の情報提供の実施に向けて検討する。</p>
20	その他	意見	反映	<p>【村での生活環境等について】</p> <p>○収入面での不安はあるものの、自然に触れ心が豊かになり、新鮮で美味しい野菜や果物を食べて体が喜び、日々幸せを感じている。</p> <p>○四季それぞれに村ならではの特徴・良さがあり、特に冬の雪景色はとてもワクワクする。</p> <p>○その一方で雪が多い冬の生活環境、除雪作業等のハードルが下がると良いと思う方がいるのではないかと感じる。</p> <p>○北塩原村が大好きな人たちがいっぱいになることを望む。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○様々な資源、恵みに触れる施策を講じる。</p> <p>○村の良さ、課題を含めて地域の方や関係者等で、想いを共感できる機会の創出に努め、生活する上での課題が和らぐことができるように努めていく。</p>
21	その他	意見	—	<p>【習い事に対する助成について】</p> <p>○こどもが習い事を受けるにあたって環境面で近隣で受けられる選択肢が少ない。</p> <p>○受ける側や講師等への交通費や施設利用料等の補助などがあつたら良いのではないかと感じる。</p>	<p>【祝金の活用】</p> <p>○習い事については、各ご家庭の状況により公平な支援が困難である。</p> <p>○令和6年度より事業開始となった「にこにこ子育て祝金」等を、役立てていただきたい。</p>

No	箇所	区分	対応	意見・質問・提案等	回答
22	その他	意見	反映	<p>【少子高齢化の地域に必要な施設について】</p> <p>○地域住民が快適に集まり、交流や学び、子育て支援を行うことができるような老若男女が集える冷暖房完備の複合施設を設備を検討してほしい。</p> <p>○村の活性化や住民の生活向上、子育て世代の誘致につながるのではないかな。</p> <p>※参考モデルは須賀川市の「tette(テッテ)」</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○既存施設の有効活用を含め、利用しやすい施設環境の整備、自由に集い、交流できる空間の創出に努める。</p>
23	その他	意見	対応	<p>【会議時の進行等について】</p> <p>○会議資料は事前に委員へ送付しており、予め目通しをされている前提として、会議の際は大事な部分や変更がある部分のみの共有でよいのではないかな。</p> <p>○会議時間の短縮にもつながると思われる。</p>	<p>【効率的かつ分かりやすい進行に努める】</p> <p>○会議の進行について効率的かつ円滑な会議となるように努める。</p> <p>○他分野における会議においても同様の対応をし、全庁的に実施していく。</p>
24	その他	意見	対応	<p>【当日配布資料について】</p> <p>○事前に委員へ送付していることから、会議当日は持参することを基本とし、変更がある部分のみの差し替えの対応は可能かな。</p> <p>○プリント等の手間も省け、負担が減るものと思われる。</p>	<p>【可能な限り対応する】</p> <p>○効率的かつ円滑な会議となるように努める。</p> <p>○経費及び資源の節約に努める。</p> <p>○他課等にも共有する。</p>

No	箇所	区分	対応	意見・質問・提案等	回答
25	その他	意見	対応	<p>【桧原・裏磐梯地区保育環境整備計画について】</p> <p>○「村全体の重要施策の優先度・緊急度、桧原・裏磐梯地区の出生数の状況から、保育環境整備事業は、現在休止」とのことだが、具体的な回答ではない。</p> <p>○委員全員が村の他の施策を知っているわけではないため、上記のような回答をされると議論が出来なくなってしまうおそれがある。</p> <p>○何かをイメージしたり議論する際は、会議の中で最後まで話し合ってから、全体との検討が望ましいと考える。</p>	<p>【分かりやすい説明に努める】</p> <p>○分かりやすい説明に努める。</p>
26	その他	質問	検討	<p>【運営方法も含めて今後検討】</p> <p>○ファミリーサポート事業について、村が直接担うのは、人的にも対応が難しいと回答されたが、本当に難しいのか。</p>	<p>【運営方法も含めて今後検討】</p> <p>○現状においては、ファミリー・サポート・センターは地域住民による支え合いの仕組みを念頭に、まずは人的資源の確保、子育てサポーター養成を進めていく計画としている。</p> <p>○運営方法については、サポーターの確保状況を見極めながら検討していくこととしたい。</p>
27	その他	質問	－	<p>【計画及び主要事業等の進捗管理・見直し作業は毎年実施】</p> <p>○村の各課・各部門で行われている業務の確認や精査は重複がないかどうかも含めて定期的に行われているのか。</p>	<p>【計画及び主要事業等の進捗管理・見直し作業は毎年実施】</p> <p>○計画及び主要事業等の進捗管理・見直し作業は毎年実施している。</p>

No	箇所	区分	対応	意見・質問・提案等	回答
28	その他	意見	対応	<p>【適切な業務引継ぎに努める】</p> <p>○人事異動等の際に引継ぎ業務等が十分に行われておらず、担当が変わることにより過去に行われていたことが、ゼロからのスタートとなっているようなケースも見受けられる。これも重複と捉えられ、非効率的となっていると思われる。</p>	<p>【適切な業務引継ぎに努める】</p> <p>○事務引継ぎを確実に行うほか、各計画等の点検評価の公表などにより、施策の継続性等の確保に努める。</p>
29	その他	意見	対応	<p>【アンケート集計結果について】</p> <p>○ネガティブな意見とポジティブな意見に分けて全体を見たところ、地域的な背景によって、それぞれの意見について受け止めるべきものが変わってくると思われる。</p> <p>○地域で分けたアンケートの回答結果が分かれば、ポジティブな意見多数に対し、ネガティブな意見が少数というものが、正当な比率なのかが見えてくるように思う。(さくら小学校・さくら幼稚園の児童・園児数とそれに関わる保護者と裏磐梯幼稚園・小学校の児童・園児数とそれに関わる保護者では、サンプル数に大きな差が出ると思われる。)</p> <p>○例として共通案件に関し、一方がネガティブ、一方がポジティブという偏りがみられた場合、地理的な条件による偏りであり村民全体の満足・不満ではない可能性が生じる。)</p>	<p>【地区別の集計を行う】</p> <p>○地域の特性等を分析するため、クロス集計を行う。</p> <p>(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てニーズに関する設問 ・子育て環境満足度に関する設問

No	箇所	区分	対応	意見・質問・提案等	回答
30	その他	意見	対応	<p>【各委員からの意見について】</p> <p>○後日、寄せられる各委員からの意見について委員間で共有したい。</p> <p>○共有することにより、同じ意見、質問を会議で述べる必要性がなくなるのではないか。</p>	<p>【書面により意見を共有する】</p> <p>○第2回会議前に事前に送付を行ったように、意見等を要約した本意見・提案書を委員へ事前に送付し、共有を図る。</p>
31	その他	意見	反映	<p>【ファミリー・サポート事業導入にあたって】</p> <p>○ファミリー・サポート事業運営上の最大の懸念材料として「送迎」が挙げられる。</p> <p>○全国的にも課題となっており、送迎は「時間帯（こどもの習い事等、特に夕方に集中）」、「危険性（サポーターの自家用車を使用・冬道の走行）」、「年齢層（50代以上は乗せる自信がない等）」の問題がある。</p> <p>○当センターでは、何人かの40～50代が掛け持ちで送迎を行い、何とかつないでいる状況。</p> <p>○40～50代は働き盛りのため、この世代のファミサポ受講者は年々減少傾向にあり、送迎に限って言えば、今後の見通しはかなり厳しい。</p> <p>○村でファミサポを導入する際は、事前に利用者のニーズがどこにあるのか（送迎希望か）やサポーターからの聞き取り（送迎可能か）が重要である。</p> <p>○また、送迎希望の場合は、他の送迎手段（子育てタクシー等）も調査の上で、無理のない範囲でさまざまな運営方法を模索すべきと考える。</p>	<p>【施策を展開する際に生かしていく】</p> <p>○ファミリー・サポート事業のサービス導入を検討する際に生かす。</p>